

ホタテガイ採苗速報

成熟は全湾でさらに進んでいます

平成26年2月2日～4日に湾内8地点で養殖2年貝の成熟度調査を、2月4日に東湾2地点で地まき貝の成熟度調査を行ったので、その結果をお知らせします。

1 ホタテガイ成熟度調査結果

養殖2年貝の生殖巣指数は、西湾平均で22.6、全湾平均では23.6と、平年(それぞれ21.0、22.4)よりもやや高く、東湾平均では24.5と、平年(24.0)とほぼ同じ状況となっています(図1～3)。各地の測定結果は表1のとおりです。

地まき貝の生殖巣指数は20.5と、平年(17.3)よりも高くなっています(図4)。各地の測定結果は表2のとおりです。

表1 垂下養殖2年貝の測定結果(調査基準日 2月5日)

調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部重量(g)	軟体部指数	生殖巣重量(g)	生殖巣指数	
蓬田村	2月3日	9.8	95.2	39.7	41.7	7.5 (9.5)	18.8 (19.8)
青森市奥内	2月4日	10.3	113.2	46.2	40.8	11.8 (9.2)	25.6 (21.1)
久栗坂実験漁場	2月4日	10.8	123.0	55.9	45.4	14.5 (14.2)	26.0 (22.9)
平内町浦田	2月2日	9.5	102.1	43.3	42.5	8.7 (9.2)	20.0 (19.5)
西湾平均		10.1	108.4	46.3	42.6	10.6 (10.9)	22.6 (21.0)
野辺地町	2月2日	10.1	110.8	52.7	47.6	13.9 (17.0)	26.4 (26.2)
むつ市	2月4日	8.9	80.2	36.3	45.2	8.5 (10.9)	23.5 (23.2)
川内町	2月4日	9.1	80.8	38.8	47.9	8.6 (12.2)	22.1 (23.1)
川内実験漁場	2月4日	10.2	103.9	49.1	47.3	12.8 (12.8)	26.0 (23.3)
東湾平均		9.6	93.9	44.2	47.0	11.0 (13.4)	24.5 (24.0)
全湾平均		9.8	101.2	45.3	44.8	10.8 (12.1)	23.6 (22.4)

(): H5-H25の平年値

表2 地まき貝の測定結果(調査基準日 2月5日)

調査地点	調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部重量(g)	軟体部指数	生殖巣重量(g)	生殖巣指数
野辺地町	欠測						
むつ市	2月4日	10.7	134.9	61.3	45.5	12.1 (10.5)	19.7 (17.8)
川内町	2月4日	10.9	149.9	66.8	44.5	14.2 (8.7)	21.2 (17.2)
東湾平均		10.8	142.4	64.1	45.0	13.2 (9.6)	20.5 (17.3)

(): H5-H25の平年値

2 海況

各ブイの1月30日～2月5日の平均水温は表3のとおりです。平年と比較すると、平館ブイの15m層で平年並み、青森ブイと東湾ブイの15m層でやや低めとなっています。

表3 各ブイの1週間(1/30～2/5)の日平均水温

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	9.2～9.2	東湾ブイ	3.6～3.7
青森ブイ	5.4～5.6	浜奥内ブイ	2.9～3.2

3 今後の見込み

成熟は全湾でさらに進んでいます。今後、急激に水温が上昇すると、産卵が始まる可能性があります。産卵時期及び採苗器投入時期については、今後の情報を参考にしてください。

また、①今年の親貝数は約1億3千万枚と、**採苗器1袋当りに2万個の稚貝を付着させるために必要な親貝数(1億7千万枚)を下回っていること**、②親貝が平年より小型で生殖巣も小さいため、**親貝1枚当りの産卵数は平年より少ない可能性があること**から、効率よく稚貝を確保するために採苗器を平年よりも多めに準備してください。

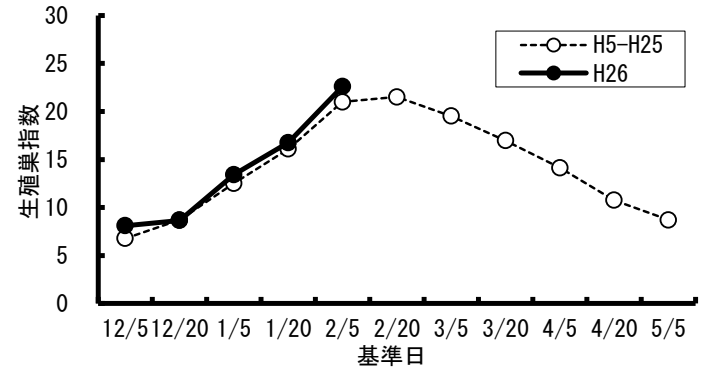


図1 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(西湾平均)

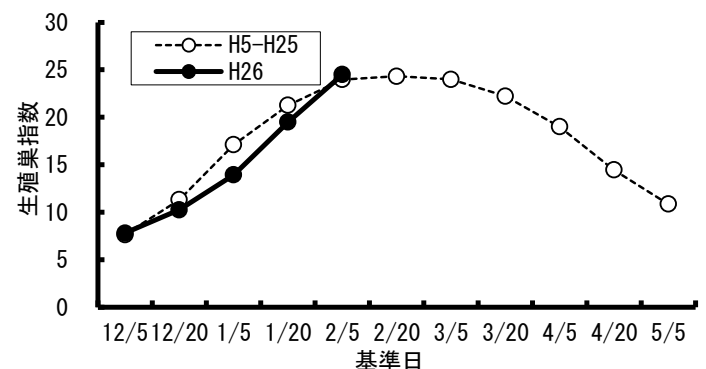


図2 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

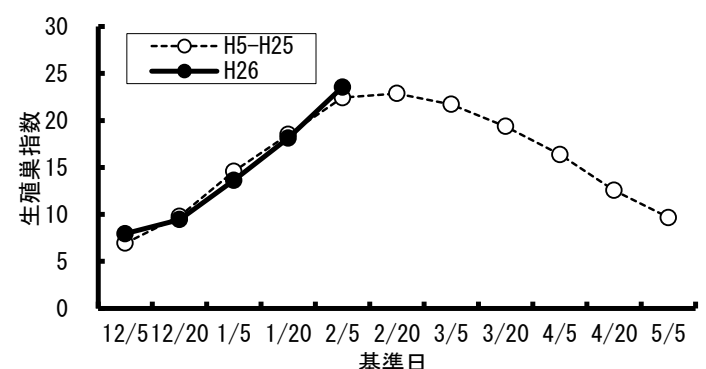


図3 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(全湾平均)

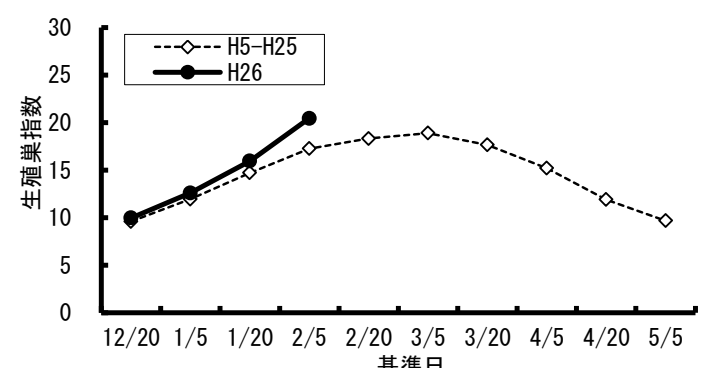


図4 地まき貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

広がる海の知識！
身につける新たな技術！ 漁業後継者育成研修『賓陽塾』
塾生募集中！！ 詳しくは水産総合研究所 ほたて貝部まで

